

第2回 松ヶ岡プロジェクト推進委員会（議事録）

日時：平成27年7月18日（土）

9：30～11：30 まで

会場：松ヶ岡（旧山崎家住宅）

1 開 会

2 挨拶

教育長挨拶

平成24年に松ヶ岡を見学した中央小学校6年生（当時）の感想文の一部を紹介。子どもたちの気持ちを大切にしていく事が大事。

委員長挨拶

- ・南相馬市の報徳や二宮金次郎、尊徳の一番弟子で没後に思想をまとめた富田高慶の資料が、小学校4年生からの副読本になっていることの紹介。
- ・地方創生の中、人口減少が叫ばれ、地方が存続するには、歴史を振り返り、地域のアイデンティティ、自分らしさを規定し、現状を把握して魅力、強みを売り、ネットワークで広げることが必要。松ヶ岡プロジェクトもアイデンティティの確立であり、こういう文化財を持っている事を発信し、ネットワークを持って情報交換しながら、豊かな物語を紡いでいくことが大事。この事業も、まさにこれからの地域発展のためであることを改めて感じた。

3 事務局自己紹介 次長から順に自己紹介

4 議事 進行…委員長

(1) 現在までの活動報告…資料①に沿って事務局から説明

活動報告を了承。

(2) 今後の活動について…資料②に沿って事務局から説明

- ・秋のイベントについて、浜北の「森岡の家」や、島田市川越遺跡の「塚本家」などの市民保存団体等と連携して、座談会的なものの開催も提案。

- ・説明者の計画的な育成を行う必要がある。
- ・松ヶ岡に「賢い子供の塾」を開設し、委員長などに学長をお願いしたい。子供への教育は現状でもある程度行うが、修復後に本格的に考えていく。双六のような仕掛けも必要。
- ・建物の暫定的な修復について、施工のプロセスに市民が参加できれば、ファン、サポーターが増す。PRが必要。

暫定的な修繕は何がどこまでできるのかということ事務局で整理する。現状では一定の寄付をいただいた上で、修理していくということしかないのではないか。重文を目指す以上慎重に実施する必要がある実体的にどこをやるかというのは、逐一写真や記録を残しておかないといけない。

- ・今の公開は見てもらうのが目的ではなく、盛り上げ、お金の集めの前提としている。市民の支持を広く得るための暫定的、啓蒙的な公開であり、実際に工事が始まれば非公開となるのでご了承

くださいということになる。毎月第4土曜日の公開については、様々な団体・組織へ案内を出し、大勢に松ヶ岡を知ってもらおう。

- マップについては、現状では既存のものに印を入れるなどして使ってほしい。
- 個人の所有している資料をリストアップして、写真撮影や借用を依頼し、展示をしたい。暫定的・啓蒙的公開の中で、建物だけでなく、松ヶ岡が持っている価値を説明する資料を2、3点借りたい。
- 現在、一般公開時に A4 両面、A3 両面の資料で、建物や山崎家のことについて概略を記したものを配っているが、建物だけでなく、以善堂、柱聯の意味を伝え、そういう教育をされた家族だから、立派な仕事をしたという姿勢で書いた資料が欲しい。

事務局から、議事以外の資料の説明

5 閉会